第1版（2026年8月4日作成）

2006年1月1日から2025年12月31日までの間に膵癌、膵神経内分泌腫瘍、膵管内乳頭粘液性腫瘍、粘液性嚢胞腫瘍、充実性偽乳頭状腫瘍、腺房細胞癌などの膵腫瘍性疾患ならびに自己免疫性膵炎、慢性膵炎、急性膵炎等の炎症性膵疾患と診断された方（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余膵検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》プロテオーム解析による膵疾患の病態解明とバイオマーカー探索

《研究機関名・研究責任者》関西医科大学附属病院・消化器肝臓内科・准教授　池浦 司

《研究の目的》膵組織を用いてプロテオーム解析を網羅的に行い、疾患の発症、進展、重症化、治療反応性および予後に関連するタンパク質発現や分子経路を明らかにすること

《研究期間》研究機関の長の許可日～2030年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2006年1月1日から2025年12月31日までの間に関西医科大学附属病院で膵癌、膵神経内分泌腫瘍、膵管内乳頭粘液性腫瘍、粘液性嚢胞腫瘍、充実性偽乳頭状腫瘍、腺房細胞癌などの膵腫瘍性疾患、ならびに自己免疫性膵炎、慢性膵炎、急性膵炎等の炎症性膵疾患と診断された方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査、画像検査、病理学的所見、臨床経過等

試料：膵臓の病理検体

《試料・情報の利用又は提供を開始する予定日》2026年11月1日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での病理検体・診療情報等の取扱い》

病理検体や診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

＊上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院　消化器肝臓内科　病院教授　池浦 司

大阪府枚方市新町2-3-1　電話　072-804-0101（代表）